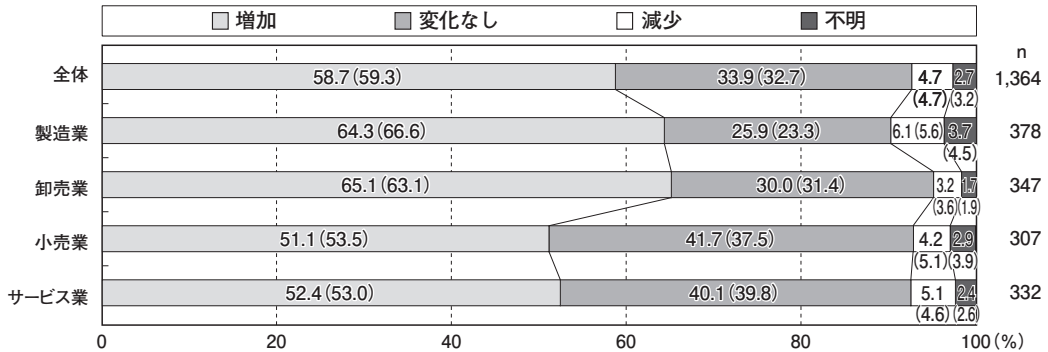


事業活動におけるコストの変動

1. コストの変化（前年同月比）

前年同月と比較した2026年（令和8年）6月の生産や販売、サービス提供に要するコストの変化を全体でみると、「増加」が58.7%（前回調査 59.3%）と最も高く、「変化なし」が33.9%（同32.7%）、「減少」が4.7%（同4.7%）の順で続いた。

図表8 コストの変化（前年同月比）



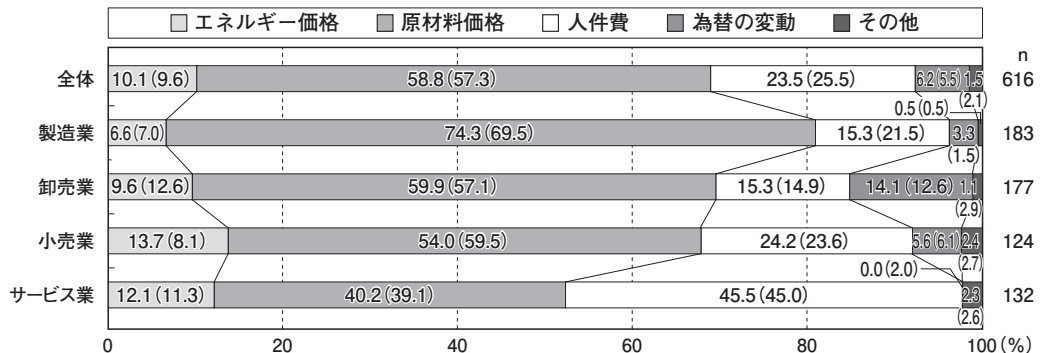
注) 無回答を除き集計。() 内は前回調査（令和8年6月）の数値。
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

2. コスト増加の最大の要因

生産や販売、サービス提供に要するコスト増加の最大の要因を全体でみると、「原材料価格」が58.8%（前回調査 57.3%）と最も高く、「人件費」が23.5%（同25.5%）、「エネルギー価格」が10.1%（同9.6%）、「為替の変動」が6.2%（同5.5%）の順で続いた。

業種別にみると、他の業種に比べて製造業は「原材料価格」の74.3%（同69.5%）、卸売業は「為替の変動」の14.1%（同12.6%）、小売業は「エネルギー価格」の13.7%（同8.1%）、サービス業は「人件費」の45.5%（同45.0%）がそれぞれ高い。

図表9 コスト増加の最大の要因



注) コストの変化（前年同月比）（図表8）で「増加」と回答した企業のうち無回答等を除き集計。
() 内は前回調査（令和8年6月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。